

經營狀況報告書

令和5年度 事業報告

令和6年度 事業計画

豊橋駐車場 株式会社

I 令和5年度 事業報告

1 会社の現況に関する事項

(1) 事業の経過及びその成果

当会計年度における我が国の経済状況は、長期化するウクライナ情勢の不安、円安等の影響により物価が上昇し、企業活動及び家計を圧迫するなど、景気の先行きが不透明な状態が続きました。

このような状況の下、当社は、売上増加を目指し、お客様を「待つ」だけの姿勢ではなく、利用を促す施策の実施に積極的に取り組んでまいりました。その例としては、株式会社豊橋まちなか活性化センター及び近隣の商店街と連携した集客催事、場内でのファミリー利用者に向けた自社イベントの開催等が挙げられます。これらの施策の実施により一般時間貸利用台数が1か月平均8,000台を超え、売上増加に寄与しました。特に7・8月の夏休み期間中については、令和元年度のこれらの月の実績を上回る結果を残し、通年での一般時間貸利用台数は、前年比107%となりました。

一方、支出面である販売費及び一般管理費については、我が国の経済状況を考慮すると、光熱費を始め資材の値上げなどによる修繕費及び保守管理料の増加が懸念されました。そのため契約電力量の見直しや各機器のローテーション稼働、給気・排気機器の分岐利用等に取り組みました。このような工夫もあり、年間電力費は、前年比70%ほどとなりました。

結果として、経営成績は売上高111,180千円（前年比108%）、販売費及び一般管理費は105,813千円（前年比98%）となり、営業利益としては5,367千円、当期純利益としては879千円を計上するに至りました。

(2) 会社が対処すべき課題

ア 当社は、豊橋市と地元企業等により設立された第三セクターの駐車場経営会社であり、中心市街地の駐車場及びまちなかのにぎわい創出のため、豊橋市を始め、地元企業等との連携を図りながら諸政策を展開してまいります。

イ 当社が経営するパーク500周辺では、令和元年頃から大型商業施設の撤退及び新型コロナウイルス感染症の影響により人出が大きく減少していました。しかし、令和3年11月に開館したemCAMPUS及びまちなか図書館によって安定した集客がもたらされ、更には、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に位置づけされたこと等により、人々の外出の機会が増加し、かつてのにぎわいが戻り始めました。

また、令和6年度からは、当社が株式会社まちなか活性化センターと共同企業体を組み、駅前地区の2つの地下駐車場及び近隣地区の松葉公園地下駐車場の3つの公共駐車場について、指定管理者として運営に当たることになりました。そのため、今後は、当社が経営するパーク500を含めた4か所の大型駐車場と、まちなかの集客催事との連携を図り、来街者の利便性向上を進め、当該地区のにぎわい創出の一助となるよう努めてまいります。

(3) 財産及び損益の状況の推移

	令和3年度 (第35期)	令和4年度 (第36期)	令和5年度 (第37期)
	令和3年4月1日から 令和4年3月31日まで	令和4年4月1日から 令和5年3月31日まで	令和5年4月1日から 令和6年3月31日まで
売上高	95,597千円	103,338千円	111,180千円
経常利益	△15,735千円	△8,079千円	1,856千円
当期純利益	△16,712千円	△9,056千円	879千円
1株当たり当期純利益	△14,570円	△7,895円	767円
総資産	1,504,187千円	1,465,900千円	1,428,802千円
純資産	1,111,033千円	1,101,977千円	1,102,857千円

(注) 売上高は、全て消費税を除いて計上

(4) 主要な事業内容（令和6年3月31日現在）

当社は、駐車場法にのっとり、以下のアからウまでによって地下自動車駐車場の経営を行っています。

ア 駐車時間に応じて1車両ごとに駐車料金を徴収する。

イ 定期駐車券（全日制定期券・夜間定期券・24時間入出庫対応定期券）を駐車場の利用状況に応じて販売する（駐車位置は、指定しない。）。

ウ 料金設定は、内税方式とする。

(5) 従業員の状況（令和6年3月31日現在）

従業員数	前年度末比増減
8名	増減なし

(6) 借入先（令和6年3月31日現在）

借入先	借入金残高
豊橋信用金庫	290,000千円
豊橋商工信用組合	30,000千円
合計	320,000千円

II 令和5年度 決算報告
貸借対照表
(令和6年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
流 動 資 産	50,829,699	流 動 負 債	15,945,175
現 金 預 金	47,607,845	1年内返済予定の長期借入金	10,000,000
売 掛 金	1,171,596	未 払 費 用	1,807,420
貯 蔵 品	7,246	預 り 金	116,185
前 払 費 用	1,448,942	前 受 収 益	139,150
未 収 入 金	585,870	未 払 消 費 税	2,905,420
仮 払 金	8,200	未 払 法 人 税 等	977,000
固 定 資 産	1,377,973,075	固 定 負 債	310,000,000
有 形 固 定 資 産	1,376,833,075	長 期 借 入 金	310,000,000
建 物	1,376,349,971		
構 築 物	3	負 債 合 計	325,945,175
什 器 備 品	483,101		
無 形 固 定 資 産	1,080,000	(純 資 産 の 部)	
ソ フ ト ウ ェ ア	1,080,000	株 主 資 本	1,102,857,599
投 資 そ の 他 の 資 産	60,000	資 本 金	100,000,000
出 資 金	60,000	そ の 他 資 本 剰 余 金	1,047,000,000
		利 益 剰 余 金	△44,142,401
		〔繰越剰余金〕	△45,022,279
		〔当期純利益〕	879,878
		純 資 産 合 計	1,102,857,599
資 産 合 計	1,428,802,774	負 債 及 び 純 資 産 合 計	1,428,802,774

損益計算書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	金 額	
売上高		111,180,324
売上総利益		111,180,324
販売費及び一般管理費		105,813,091
給料賃金	23,575,097	
賞与	3,231,600	
諸手当	1,269,000	
退職金	200,000	
法定福利費	3,267,978	
福利厚生費	568,906	
支払手数料	258,965	
交際費	50,637	
広告宣伝費	131,567	
消耗品費	1,300,401	
会議費	86,852	
事務用品費	527,256	
水道光熱費	93,965	
電力費	6,907,930	
旅費交通費	12,365	
通信費	350,903	
租税公課	8,094,299	
修繕費	3,271,264	
保守管理料	3,207,630	
保険料	777,160	
貸借料	3,583,600	
リース料	3,290,400	
減価償却費	37,258,867	
支払管理料	2,009,600	
雑費	2,486,849	
営業利益		5,367,233
営業外収益		1,340,121
受取利息及び受取配当金	2,960	
雑収入	1,337,161	
営業外費用		4,850,476
支払利息	4,850,476	
経常利益		1,856,878
税引前当期純利益		1,856,878
法人税、住民税及び事業税		977,000
当期純利益		879,878

株主資本等変動計算書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

(単位：円)

	株 主 資 本				純 資 産 合 計
	資 本 金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	
		その他資本剰余金	繰越利益剰余金		
前期末残高	100,000,000	1,047,000,000	△45,022,279	1,101,977,721	1,101,977,721
当期変動額	0	0	0	0	0
当期純利益	0	0	879,878	879,878	879,878
当期末残高	100,000,000	1,047,000,000	△44,142,401	1,102,857,599	1,102,857,599

Ⅲ 令和6年度 事業計画

1 事業計画の概要

当会計年度については、駅前大通にて催される集客催事の増加や、当社周辺のまちなか図書館及び商業施設等において利用者の増加が見込まれるため、まちなかのにぎわいが創出されることとなり、多くの人出が期待されます。これにより、当社駐車場は、周辺の商店街及び企業との連携を活かした施策をこれまで以上に実施し、売上増加を図っていきたいと考えます。

当社は、昨年度から近隣の商店街と連携し、双方の利用者増加に努めており、売上増加の大きな要因となっております。また、場内のお客様受付事務所に、ファミリー利用者向けの集客催事を小規模ながら定期的で開催することで固定客の増加を目指し、利用者の顧客化を図りました。さらに、随時SNSを通じて利用案内を行うことで、リピート利用につながっています。今後は、利用者アンケート等を行うことで、お客様の「声」を反映させた、より良い駐車場環境整備に役立てていきたいと考えております。

また、今年度から当社は、株式会社豊橋まちなか活性化センターと共同企業体を組み、公共駐車場の指定管理者として当該地区に所在する3つの駐車場を新たに管理運営することとなりました。当社駐車場と合わせて4つの大型駐車場を、交通インフラの立場からまちなかの活性化事業と連携させ、駐車場の利益に繋げたいと考えております。加えて、当社は、当該地区の民間駐車場会社からなる駐車場組合の先導的立場にあることを考慮し、公民駐車場が協力して当該地区の利便性を向上させ、まちなかのにぎわいの創出と居住者の安全・安心な生活を守る必要があると考えます。そのため、豊橋駅周辺駐車場の利用促進のためのソフト対策を地域や公共等と一緒に取り組み、地域の発展に努め、第三セクターとしての役割を全うしていく所存です。

IV 令和6年度 収支予算
(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	金 額	
売 上 高		190,500,000
料 金 収 入	115,400,000	
賃 貸 料 収 入	75,100,000	
売 上 総 利 益		190,500,000
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		185,700,000
営 業 利 益		4,800,000
営 業 外 収 益		1,700,000
営 業 外 費 用		4,900,000
経 常 利 益		1,600,000
税 引 前 当 期 純 利 益		1,600,000
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税		1,000,000
当 期 純 利 益		600,000